Proxmox VE 7.0の構築手順書

日的

proxmox7.0をローカル環境にインストールし、VMを立ち上げる。

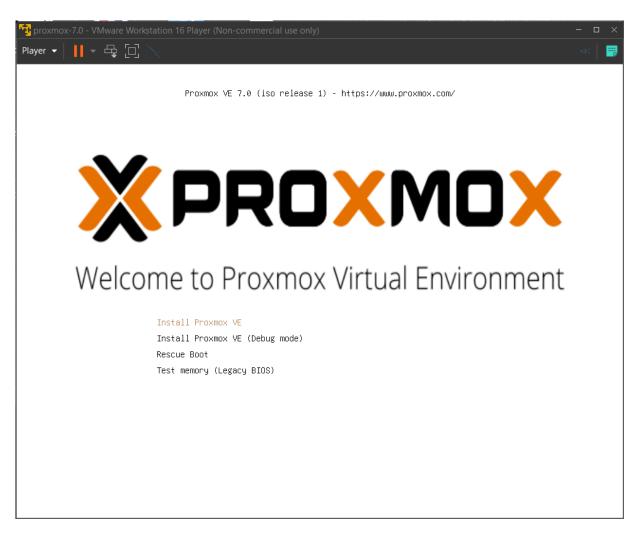
前提

Win10端末にVMware Workstation Player1 6がインストールされていること。 Vmware Workstation Playerを使用して、Proxmox VE 7.0を導入する。 Proxmox VE 7.0のスペックは、CPU1コア4ソケット、メモリ4GB、ハードディスク100GBとする。

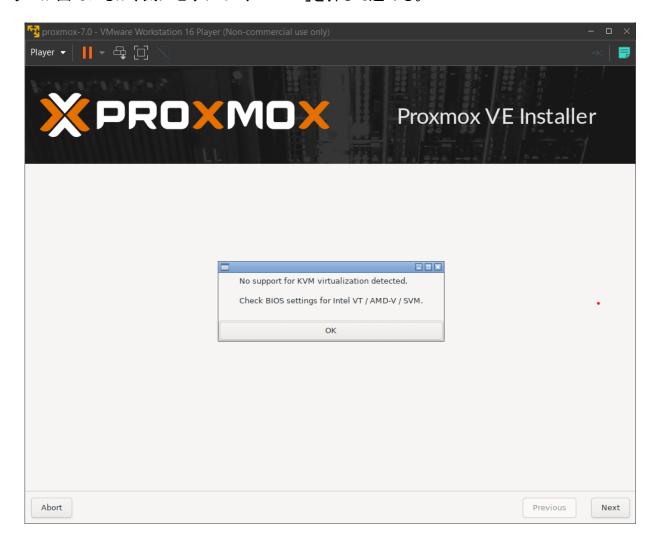
目次

- 1. Proxmox VE 7.0のインストール
- 2.ログイン
- 3.isoファイルのアップロード
- 4.仮想マシン(VM)のインストール
- 5.トラブルシューティング
- 1.Proxmox VE 7.0のインストール

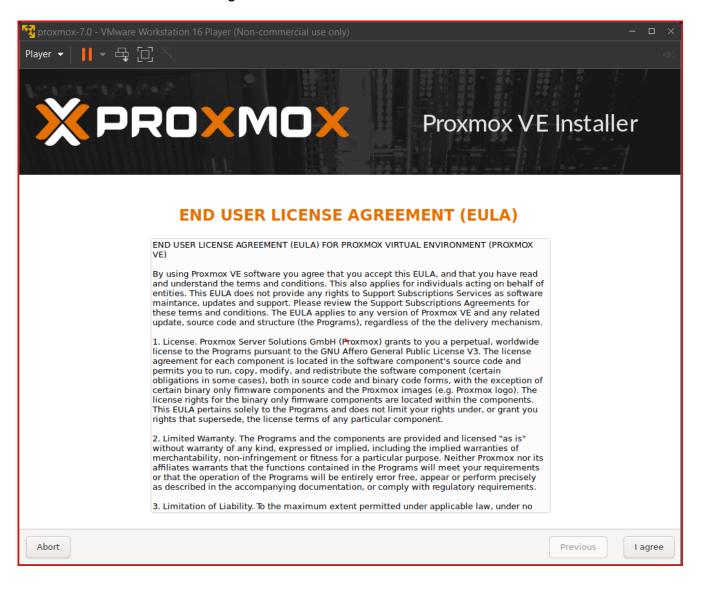
Install Proxmox VEにカーソルを合わせ、エンターキーを押す。 ※カーソルは、カーソルキーで操作可能



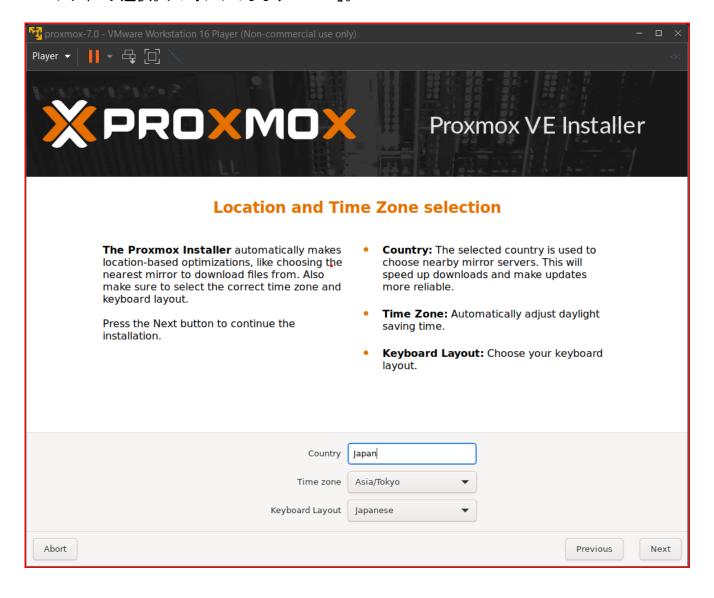
エラーが出ているが、気にせずにOK、「NEXT」を押して進める。



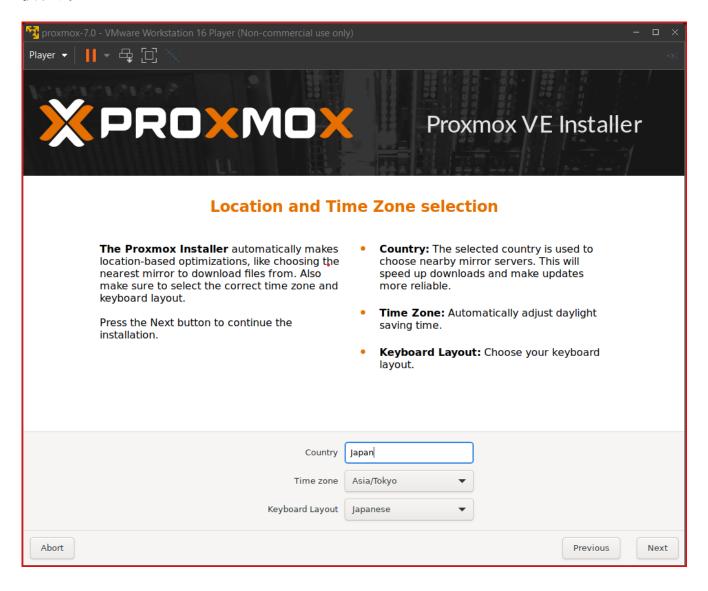
ソフトウェア利用許諾契約。「lagree」で先に進める。



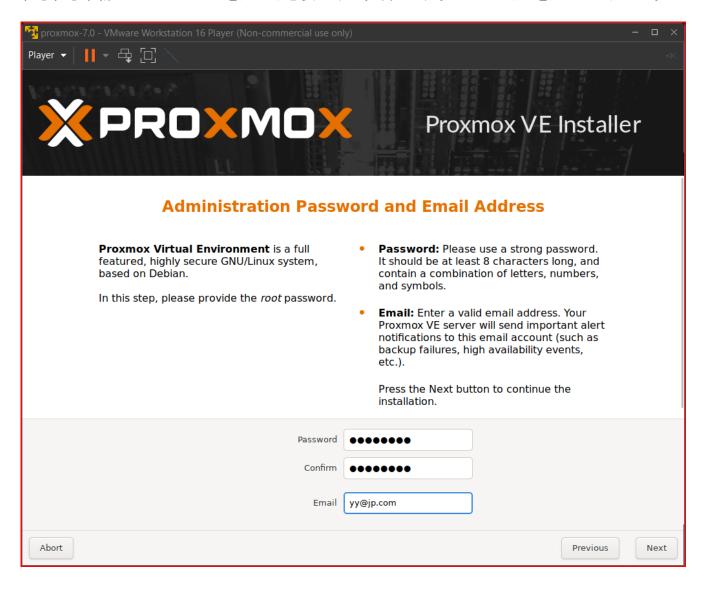
ハードディスク選択。デフォルトのまま、「NEXT」。



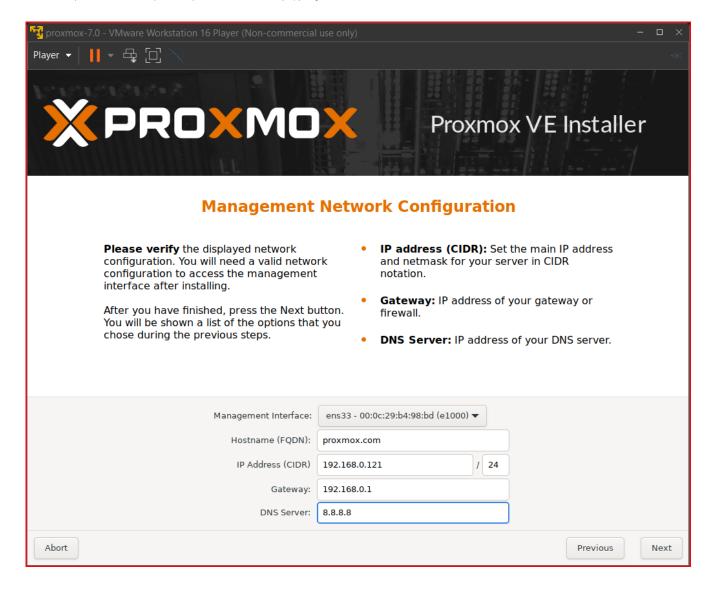
ロケールの選択。Countryはjapan、Time zoneは、Asia/Tokyo、Keyboard Layoutはjapaneseを選択する。



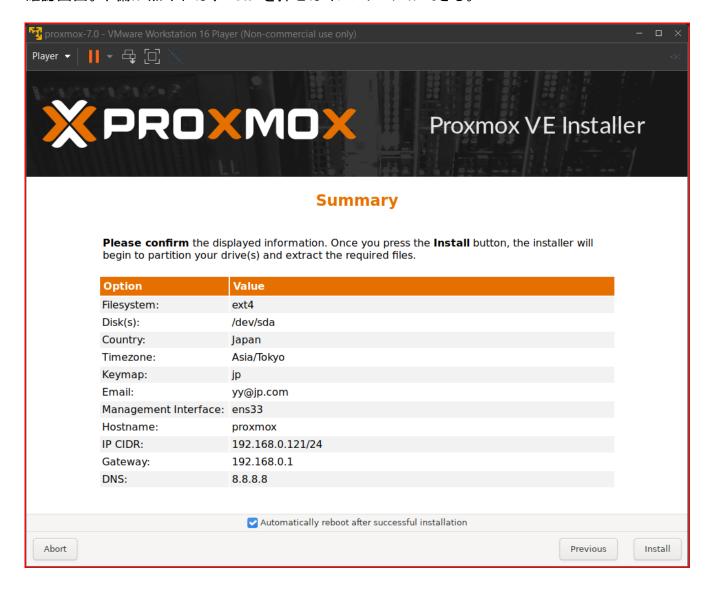
ログイン時のrootパスワードと、メールアドレスを設定する。有効なメールアドレスと書いてあるが、わざわざ本物のメールアドレスを入れる必要はない。今回は、それっぽいものを入力しておいた。



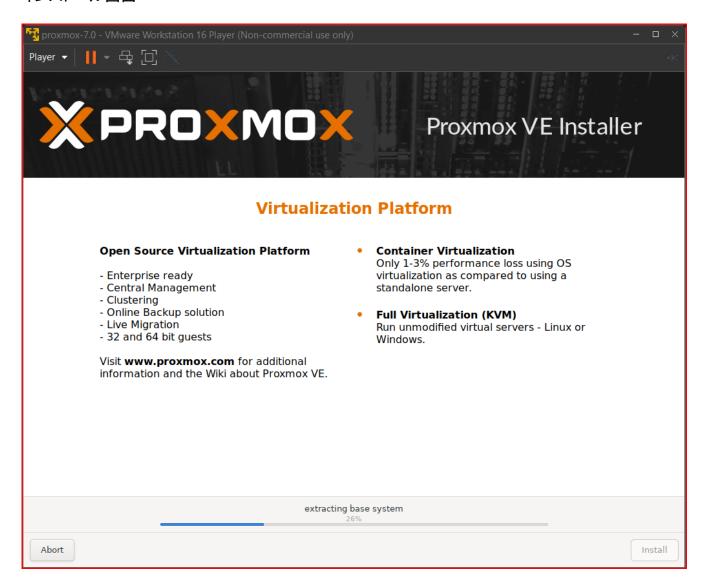
FQDN、IPアドレス、GW、DNSの入力画面。



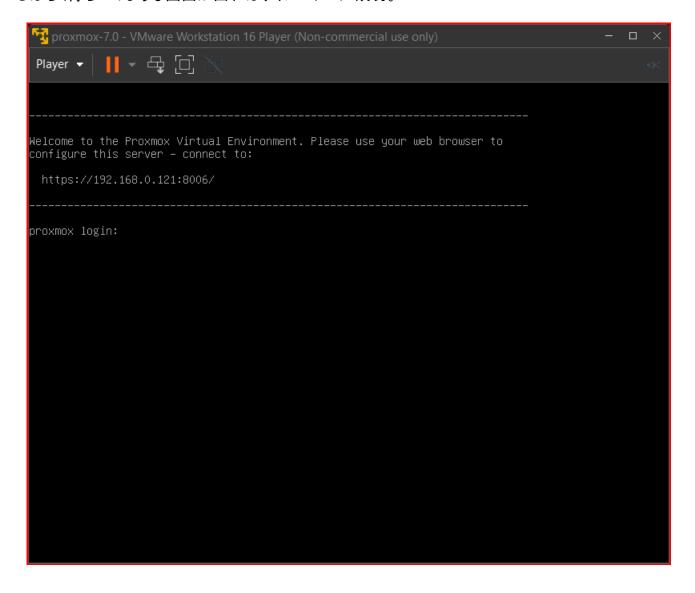
確認画面。不備が無ければ、Installを押せばインストールができる。



インストール画面



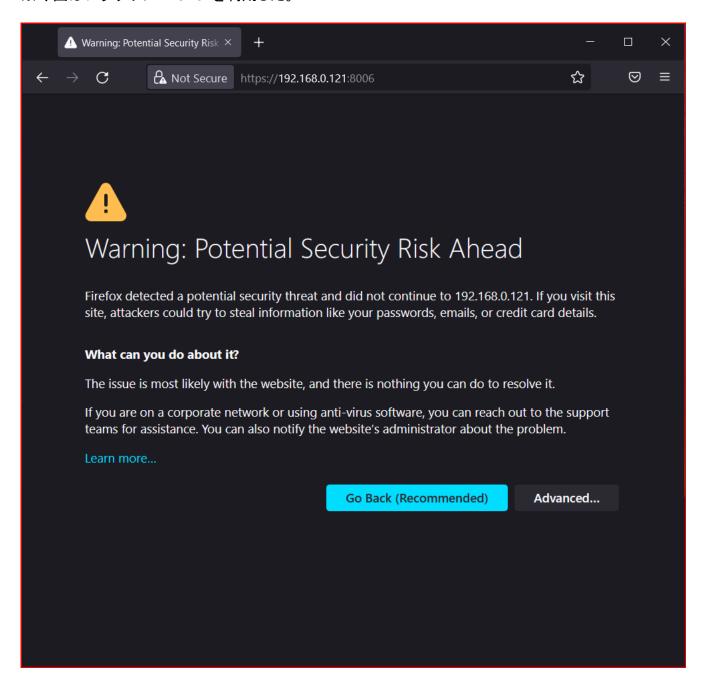
しばらく待ちこのような画面が出れば、インストール成功。



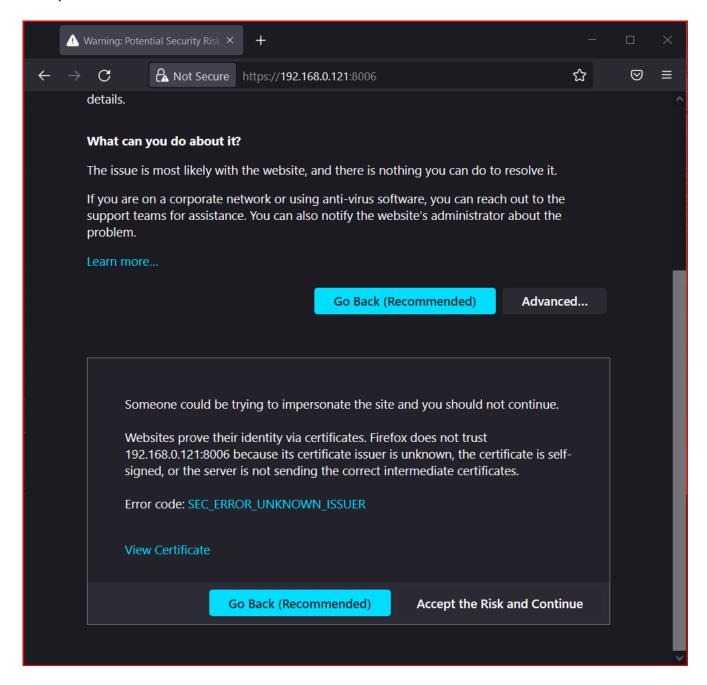
2.ログイン

ブラウザに、https://(IPアドレス):8006と入力する。警告が出るが無視して、Advanced(詳細)へ進む。

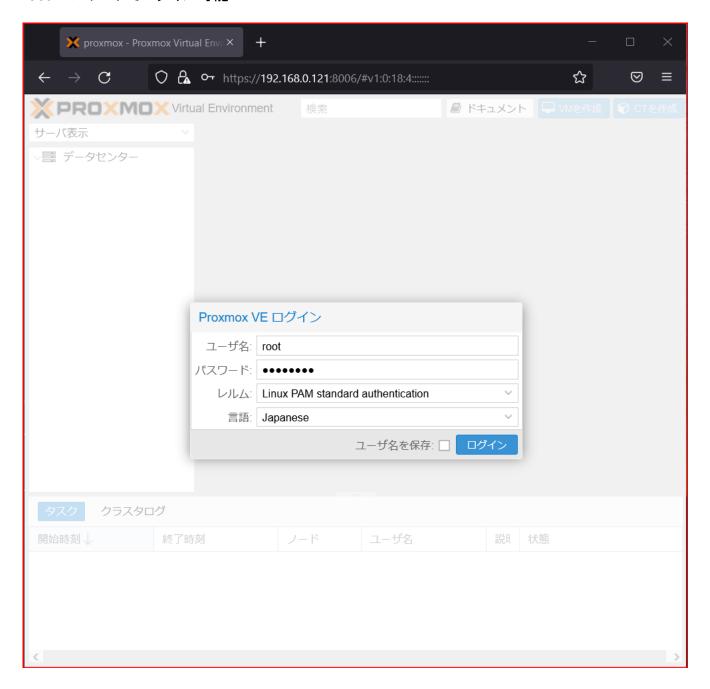
※今回はブラウザにFireFoxを利用した。



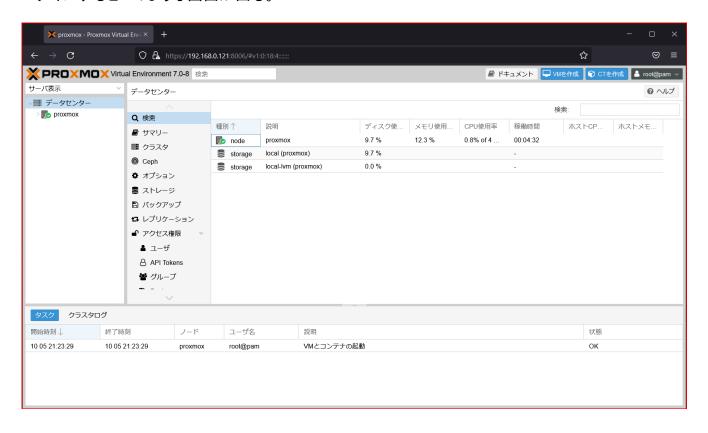
Accept the risk and continueを選択すると、ログインできる。



root/パスワードでログイン可能

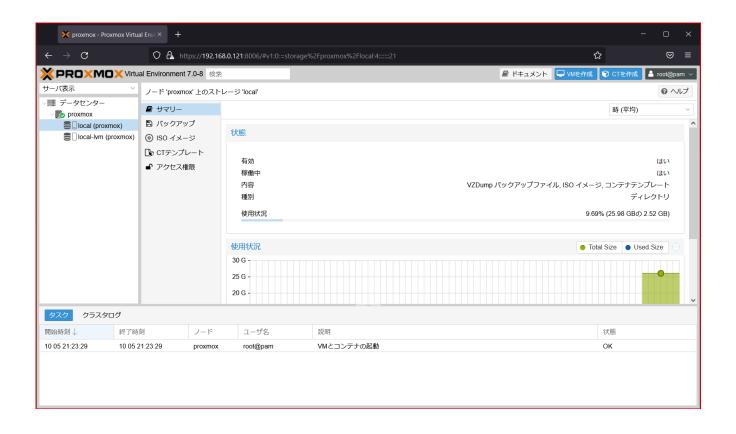


ログインするとこのような画面が出る。

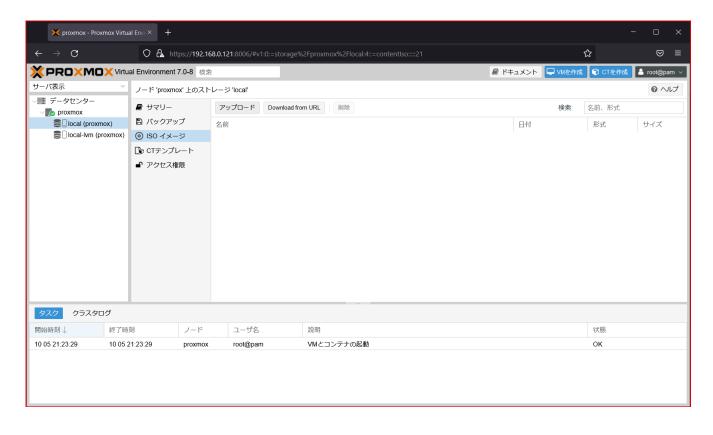


3.isoファイルのアップロード

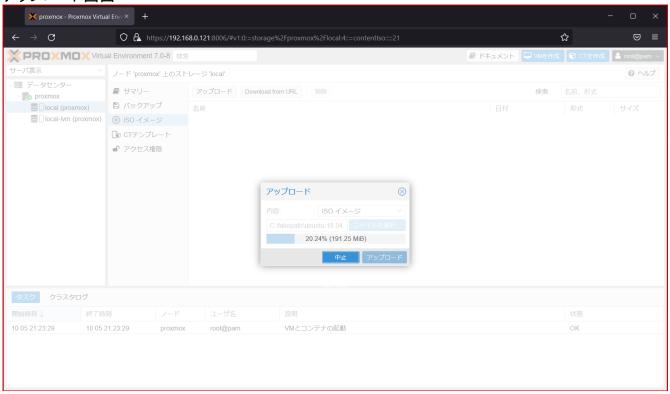
左バーのデータセンター→proxmox→local(proxmox)に進む。ISOイメージを選択する。



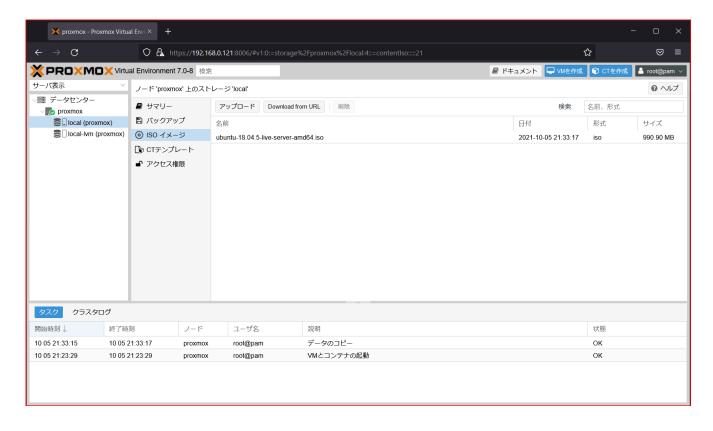
今は何もISOイメージが入っていない。 アップロードを選択し、ローカルに保存してあるisoイメージをアップロードする。 ※isoイメージの説明やダウンロード方法などは割愛。



アップロード画面

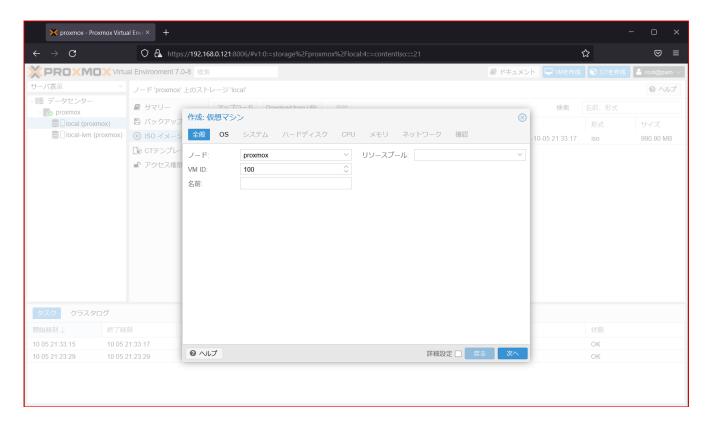


アップロードが完了すると、以下のようにisoイメージー覧にisoイメージが表れる。

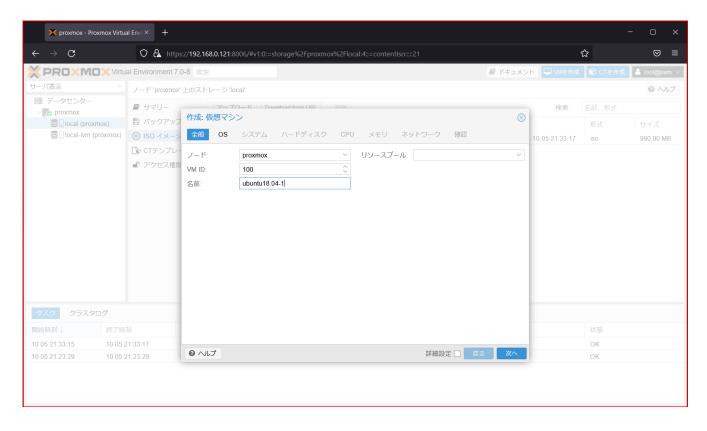


4.仮想マシン(VM)のインストール

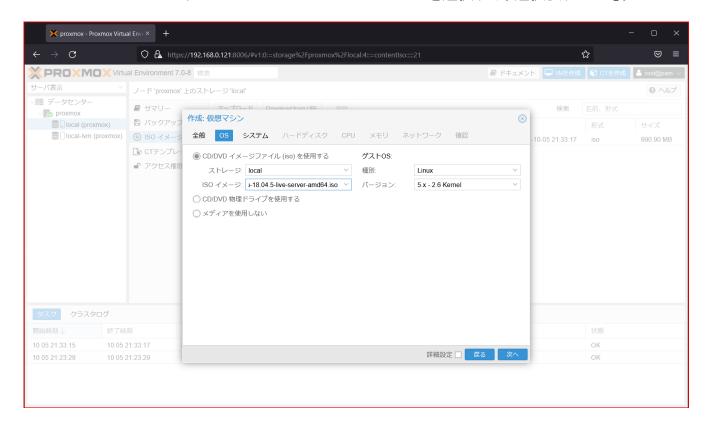
画面左上のVMを作成を選択すると、以下のようなウィザードが立ち上がる。



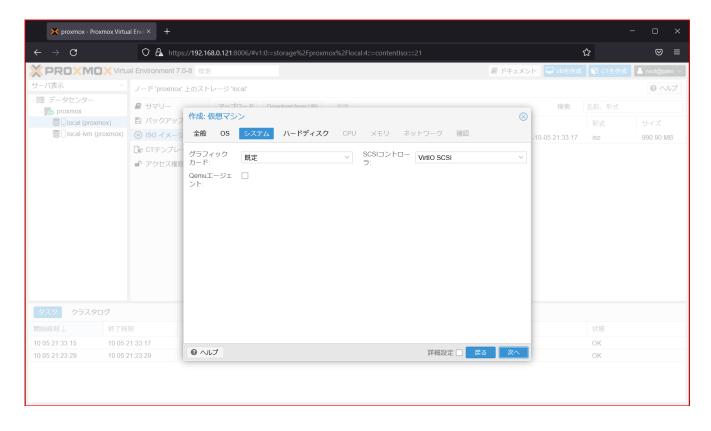
今回は先ほどアップロードした、ubuntu18.04を使用して、仮想マシンの作成を実施する。 まずは、名前を入力する。入力後は、「次へ」を押す。



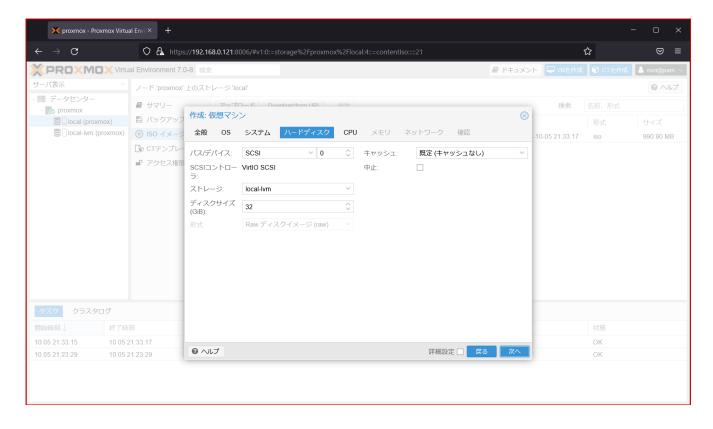
OSタブのISOイメージで先ほどアップロードしたubuntu18.04を選択する。選択後、「次へ」。



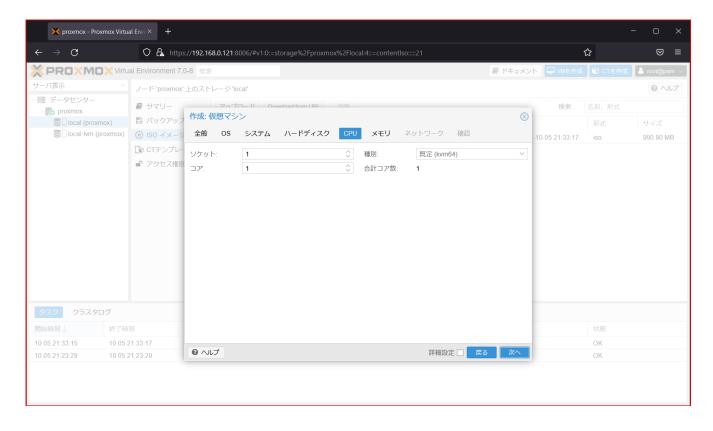
システムは、デフォルトのままで「次へ」。



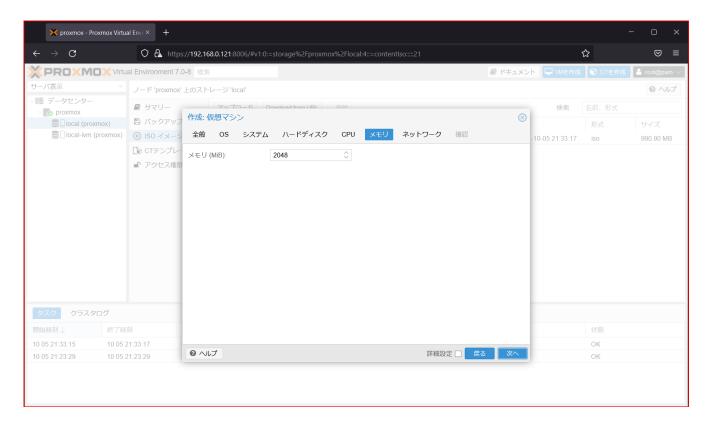
ハードディスクもデフォルトのまま「次へ」。



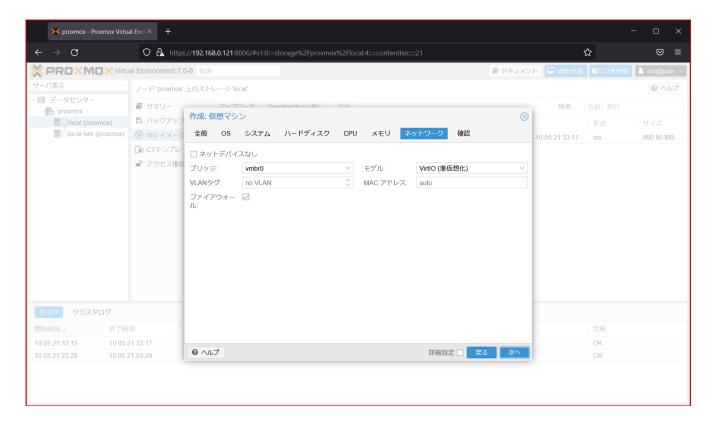
CPUもデフォルトのまま「次へ」。



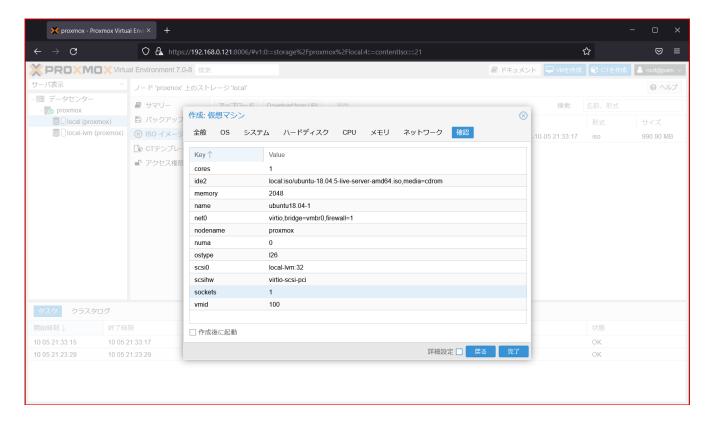
メモリもデフォルトのまま「次へ」。



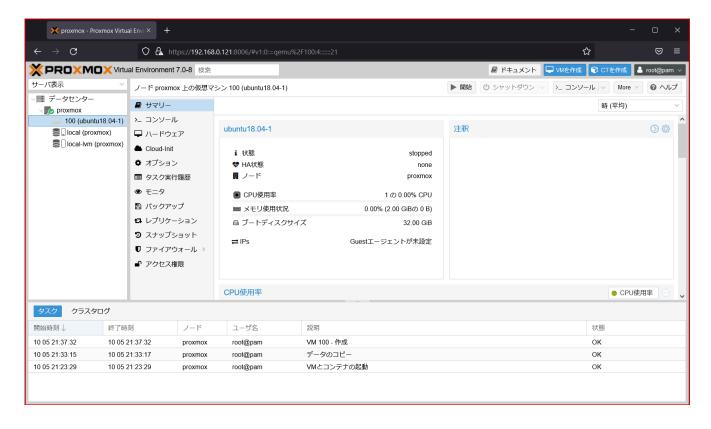
ネットワークもデフォルトのまま「次へ」。



確認が終われば、完了を選択する。すると、仮想マシンが作成される。

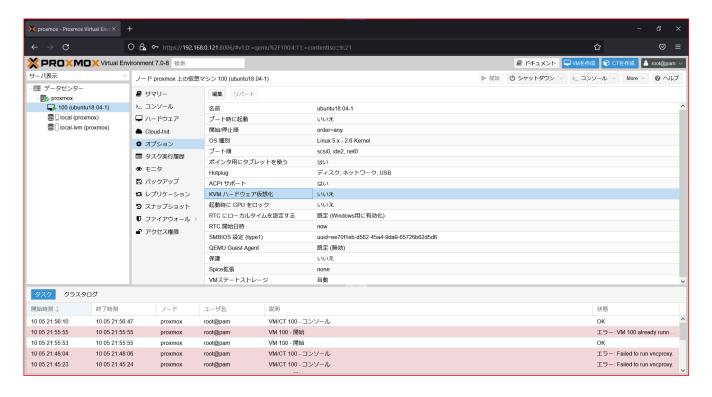


proxmoxの下に先ほど作成した仮想マシンがあることを確認する。

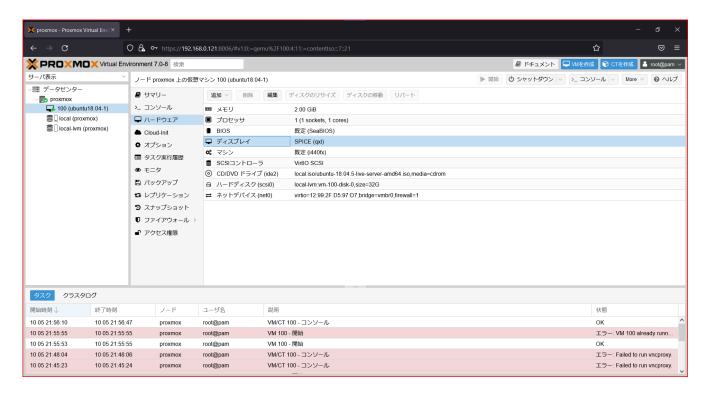


5.トラブルシューティング

このままコンソールにつないでもVMが立ち上がらないので、以下のように設定を変更した。仮想マシンを選択し、オプションのKVMハードウェア仮想化を「いいえ」に。



ディスプレイをSPICEに変更した。



コンソールの開始ボタンを押すと、仮想マシンが立ち上がる。

